

ひむか

山と森と海がもたらす神話の国

みなさん
こんにちは

宮崎県出身のマンガ家
赤星たみこです

私の生まれ育ったのは
宮崎県北部

今、「ひむか」と
呼ばれている地域です

私は今回
ひむかに伝わる
神話や伝説を
みなさんに紹介する
ことになりました

そこで私は
ひむかが
なぜ
神話の宝庫に
なったのかを
考えてみました

私が
まず注目したのは
地形と気候です

宮崎県北部は
九州山脈の東に位置し

太平洋に面した
延岡・門川・日向は
明るく温暖な気候



太平洋

日之影・高千穂・五ヶ瀬
諸塚・椎葉・美郷は
冬には雪も降る
寒冷で厳しい気候の
山間部に位置しています



現代社会では
「山間部」と言くと
「自然たっぷりの田舎」
「都会のような
経済発展を
していない地域」

というイメージを持つ方が
多いのではないだろうか？

でも！

昔の人は
そつは考えなかった
はずです！

なぜなら！

古代人にとって
森は
薪という
貴重な燃料がとれる
エネルギー供給地であり

木の実やきのこ
さまざまな動植物などの
食べ物が豊富にある
食料庫であり

住みかを作る
木材もとれる
資材供給の場でもありました



